

金城佳隆先生を講師にクラブ「三線」、第1回！！

長期研修の所内研修の1つに「クラブ」があります。すでに「書道」がスタートしていますが、三線、琉球舞踊、琉球料理などがあります。沖縄の文化や歴史にふれてもらう内容となっています。

4月30日(木)には、元三和中学校長の金城佳隆先生を講師に、「三線」のクラブを行いました。慣れない三線を手には5名の教育研究員は、先生の話に笑い声があがる和やかな雰囲気の中、工工四を見て琉球音階を奏でていました。

クラブ三線の内容

- 講師紹介
- 自己紹介
- 三線について
 - ・方言について
 - ・三味線の各部分名称
 - ・三味線の歴史
 - ・三味線の持ち方、姿勢
 - ・調弦(ちんだみ)本調子、一二揚、二揚
 - ・工工四の読み方と弾き方



写真1 三線（クラブ）の様子



写真2 講師の金城佳隆先生と教育研究員



教育研究員の感想（研修日誌から）

クラブは「三線」の初回でした。三線はこれまでやったことがなく、弦が切れてしまわないか、糸巻きを巻きすぎて壊してしまわないか、触れるのも恐る恐るでした。今日は音階の弾き方を教えていただき、ぎこちない弾き方しかできませんでしたが楽しかったです。6回で曲が弾けるようになるのか、不安なところもありますが、研究所で三線をする意義を忘れずにがんばっていきたいです。
(金城さくら)

今日のクラブ（三線）での金城佳隆先生のお話はとてもユーモアもあり、初めての三線でしたが、楽しく活動できました。これからのクラブが楽しみです。どんなときでも、ユーモアをもって人と接することって大切なんだと実感しました。
(大城厚)

今日の三線クラブでは、方言や三線の歴史にも触れ、基礎から学びました。私も以前に、自己流で三線を弾いていましたが、歌と弾きはセットだと教わり、ウチナーグチの難しさ・大切さを実感しました。調弦が難しく、音を合わせる「耳」の重要性を改めて感じました。せめて1曲を仕上げられるように頑張りたいと思います。
(長門照乃)

クラブでは、三線を学びました。阿嘉小学校に勤務していた2年間、慶留間島にいる竹次郎おじいから教わって以来の三線なので、楽しみにしていました。いざ、工工四を見て、三線を弾いてみると、指が自然と動きだしたので、体は覚えているんだな、と不思議さを体感しました。弾き方と姿勢の悪い癖が残っているので、今回のクラブで意識して改善に取り組みうと思います。
(具志堅智美)

クラブでは、初めての三線でした。沖縄に来て、初めて触るので、楽しくできました。左手が難しく、音階をしっかりと出すのに苦労しました。工工四も覚えるのが大変そうでしたが、研修を終える頃には、せめて一曲は、弾けるように頑張りたいです。
(古屋誠一)